（様式）

# 会議等速報

令和２年９月２日

| | | | |
|---|---|---|---|
| 件　　名 | 令和２年度鹿児島市障害者施策推進協議会 | 作成課 | 福祉部<br>障害福祉課 |
| 日　　時 | 令和２年８月２１日（金）１０時００分～１１時３０分 | | |
| 場　　所 | 東別館３階　災害対策本部室 | | |
| 出 席 者 | 鹿児島市障害者施策推進協議会委員１７名（１名欠席、２名代理）<br>（学識経験者、行政機関職員） | | |
| 市出席者 | 委　員：　松永副市長、市立病院病院長（代理：事務局長）、教育委員会教育長、企画財政局長、健康福祉局長、こども未来局長、産業局長、建設局長（代理：建築部長）<br>事務局：　障害福祉課、保健支援課、母子保健課、学校教育課 | | |
| 会 次 第 | １　開　会<br>２　鹿児島市の障害者手帳所持者数<br>３　議　事<br>(1) 第四次鹿児島市障害者計画に基づく施策と実施状況等について<br>(2) 障害福祉計画第５期計画・障害児福祉計画第１期計画の実施状況等について<br>(3) 障害福祉計画第６期計画・障害児福祉計画第２期計画の策定について<br>４　閉　会 | | |
| 主な意見等 | （○：委員、●：事務局）<br><br>２　鹿児島市の障害者手帳所持者数<br>○　手帳を持っていないことによってサービスを受けられないようなこともあるかもしれないが、発達障害の方々の実態を調べた資料はあるか。<br>⇒●　発達障害をはじめ、発達障害の疑いがある方も含め、通所等サービスを利用している。何らかの手帳所持者の割合は２０％弱であり、そのほか発達障害の診断を受けた方が６％程度、７５％程度は専門家の意見書によりサービスを利用している方々である。あわせて１か月で５千人を超える利用がある。<br>○　指定難病に係る医療費受給者証所持者数が、減少している要因は。<br>⇒●　認定基準見直しの影響などで、減少に転じているものと思われるが、詳しい事は把握していない。<br><br>３(1) 第四次鹿児島市障害者計画に基づく施策と実施状況等について<br>○　ヘルプカードが導入されたが、周知・啓発が弱いため、バスや電車においても、シールを貼るだけでなく、車内アナウンスで周知・啓発をしていただきたい。<br>⇒●　ご意見を関係機関に伝えたい。<br>○　児童相談所の設置・検討の状況はどうか。また、障害に関しての相談機能などを付加されるのか。<br>⇒○　進捗としては、今年度は候補地の選定を予定。付加機能についても、公表はできないが検討している。<br>○　フレンドシップ支援事業について、支援する場所が遠くにあると聞いている。公民館単位などの近い場所に出来ればと感じる。<br>⇒○　主に中学校の校舎内に設置しているが、学習面のバックアップやカウンセリングの人員も必要であり、市全体のエリアを見た時にどうかについては検討したい。 | | |

| | |
|---|---|
| 主な意見等 | ３(2) 障害福祉計画第５期計画・障害児福祉計画第１期計画の実施状況等について<br>〇　天候やコロナの影響によりイベント等が実施できなかったりしているが、密を避けるためには回数を多くするなど配慮を要すが、次の計画はどうなるのか。<br>⇒●　実施主体等と相談しながら検討したい。<br>〇　現時点でコロナの影響はどうか。<br>⇒●　全体的にイベントは自粛傾向にある。障害福祉関連では、外出を自粛している方が多く、ゆうあいパスの利用や同行援護等のサービス利用も減っているが、学校の臨時休校に伴う放課後等デイサービスの利用は増えている。<br>〇　手話通訳者や要約筆記者は、人材育成も兼ねていると思うが国家資格なのか。<br>⇒●　国家資格・業務独占資格ではないが、手話通訳の中には、名称独占資格として手話通訳士というものがおり、市長の定例記者会見や裁判などで対応している。<br><br>３(3) 障害福祉計画第６期計画・障害児福祉計画第２期計画の策定について<br>〇　少子高齢化に備え、自宅で介護をするために、介護ロボットなどの福祉支援器具が開発されているが、様々な人が積極的に購入し、利用できるような施策の検討が必要である。<br>⇒●　軽度・中度の方は地域移行が進みつつあり、国の各種制度も充実してきているので、活用するとともに、本市の実態を踏まえた検討もしていきたい。<br>〇　難病の種類・患者の内容が複雑になってきているため、理解を深め、施策に反映して頂きたい。 |